

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年度は、主に以下の事業を展開して参りました。

1. 顕彰事業

医学・医療分野の教育及び地域医療において創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果を挙げた実践者又は実践グループを顕彰することを目的に、本年度より「昭和上條医療賞」を創設し、顕彰事業を開始しました。

この顕彰事業では、全国の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会、作業療法士会、医系大学、昭和大学同窓会等約 500 か所へ募集活動を実施し、23 件の応募がありました。平成 26 年 10 月 29 日開催の選考委員会の厳正な審査を経て、6 件を採択しました。

昭和上條医療賞授賞式は、平成 26 年 12 月 15 日に挙行し、受賞者全員を表彰いたしました。

受賞者及び活動テーマは次のとおりです。

医療人育成部門 1 件

受賞者	所属機関	活動テーマ
中野 重行	大分大学医学部 創薬育薬医療コミュニケーション講座	臨床研究コーディネーター(CRC)の育成への取り組み

地域医療貢献部門 〈地域医療〉 4 件

受賞者	所属機関	活動テーマ
加納 治男	加納医院	学校保健と地域に於ける活動
川手 信行	昭和大学保健医療学部 理学療法学科	昭和大学病院近隣地区における地域リハビリテーション活動の推進
高 錫健	医療法人健仁会 健仁外科医院	大都会の貧困地域における医療
松家 治道	一般社団法人 札幌市医師会	札幌市医師会家庭医学講座

地域医療貢献部門 〈医療技術〉 1 件(グループ)

受賞者	所属機関	活動テーマ
宮坂 貞	学校法人 昭和大学	世界初のカンプトテシン系抗がん剤・塩酸イリノテカンの開発
澤田 誠吾	株式会社ヤクルト本社 中央研究所	
横倉 輝男	元株式会社ヤクルト本社 中央研究所	

選考委員会委員

氏 名	主な現職等
木内 祐二 委員長	昭和大学薬学部薬学教育学教授
市川 幾恵 委員	昭和大学統括看護部長
倉田 知光 委員	昭和大学富士吉田教育部教授
黒田 優 委員	東邦大学医学部解剖学講座教授
小林 和夫 委員	堺市衛生研究所所長

2. 学会等助成金事業

医学・医療に関する学会等の活動を支援するために、本年度より新たに学会等を助成するための事業を開始しました。

この助成金事業には、前期 6 件、後期 1 件の応募があり、平成 26 年 5 月 7 日及び 10 月 30 日開催の選考委員会の厳正な審査を経て、7 件を採択し所定の額を助成しました。

前期採択 6 件

「第 11 回日本カテキン学会年次学術大会」 岩井 信市 昭和大学薬学部 社会健康薬学講座医薬品評価薬学部門
「第 32 回日本神経治療学会総会」 河村 満 昭和大学医学部 内科学講座神経内科学部門

「日本ラクトフェリン学会第6回学術集会」

高山 善晴 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所

「International Scientific Acupuncture and Meridian Symposium(iSAMS)」

久光 正 昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門

「(公社)日本補綴歯科学会東京支部総会・第18回学術大会」

尾関 雅彦 昭和大学歯学部 インプラント歯科学講座

「第19回 医薬品開発基礎研究会」

小林 真一 昭和大学臨床薬理研究所

後期採択 1件

「福島県民の健康長寿を本気で考える会 第2回学術集会」

吉田 孝司 福島県民の健康長寿を本気で考える会 理事長

3. 会議の開催

理事会、常務理事会、評議員会等を次のとおり開催しました。

開催日		会議名
平成26年	4月 23日	常務理事会
	5月 7日	常務理事会
	5月 15日	第6回理事会
	6月 13日	定時評議員会
	7月 15日	常務理事会
	8月 26日	常務理事会
	9月 24日	常務理事会
	10月 29日	顕彰選考委員会
	10月 30日	常務理事会
	11月 10日	みなし決議に関する第7回理事会
	11月 26日	常務理事会
	12月 15日	平成26年度顕彰授賞式
	12月 25日	常務理事会

平成 27 年	1 月	7 日	常務理事会
	1 月	28 日	第 8 回理事会
	2 月	20 日	常務理事会
	3 月	10 日	みなし決議に関する第 9 回理事会
	3 月	23 日	常務理事会

4. 諸規程の整備

当年度は、次の規程を整備し管理運営の万全を期しました。

(1) 顕彰規程の改正

顕彰対象及び選考基準について、一部改正しました。

(2) 役員等報酬規程の改正

支給対象について、一部改正しました。

5. その他

(1) 寄付金収入

平成 26 度の寄付金収入は 9,300,000 円でした。

学校法人昭和大学 8,000,000 円

一 般 1,300,000 円

(2) 記念メダルの作成

「昭和上條医療賞」の創設にあたり、記念メダルを作成し、受賞者に授与いたしました。

(3) 広報活動

ホームページ等により引き続き、当公益財団の事業を広く発信しました。